

《地方の国公立大学の魅力とは?》

大学に入学する新入生は約63万人、そのうち、国立大学が約10万人、公立大学が3万人で、大学生の約5人に1人が国公立大学生という割合です。

国公立大学には、北海道大・東北大・東京大・東京工業大・一橋大・名古屋大・京都市大・大阪大・神戸大・九州大の難関国立10大学、埼玉大・千葉大・横浜国立大・筑波大・金沢大・岡山大・広島大などのブロック大学があります。それ以外にもその地域に根差した「教育」「研究」「地域貢献」に取り組み世界からも注目を集める個性的な国公立大学が47都道府県にあります。

「国立大学機構鳥取大学」作成の『国立大学の魅力概要編』と『地方の国立大学の魅力就職編』というパンフレットを保護者面談で配布しました。それを参考に3年生にも「(地方)の国公立大学の魅力」を紹介します。“この魅力”は鳥取大学だけではなく**多くの国公立大学にも通じます。**

《地方国公立大の合格者数(現浪合計)》

	令和3年3月	令和2年3月	平成31年3月	平成30年3月		令和3年3月	令和2年3月	平成31年3月	平成30年3月		令和3年3月	令和2年3月	平成31年3月	平成30年3月
小樽商科大			1		新潟大	1				札幌医科大		1		
帯広畜産大			1	2	信州大	1	3	1		国際教養大		1		
弘前大				1	富山大	1				秋田県立大	1			
秋田大	1				金沢大		2		2	福島県立医科大		1		1
岩手大	1			1	岐阜大				1	会津大	1			
山形大	1	2			静岡大	1			1	高崎経済大	2			1
茨城大	4	3	5	1	高知大			1		前橋工科大			2	
宇都宮大	5	6	7	7	宮崎大		1			山梨県立大			1	
群馬大	1	1	4		鹿児島大	1		1		三條市立大	1			
					琉球大		1	2	2	諏訪東京理科大		1		
										静岡県立大		1	1	1
										北九州市立大			1	

《地方の国公立大学の教育の特徴》

① 強い実学志向

地方においては、その地域の学術・文化・教育・産業の中心として機能しています。そのため、学問系統に実学の分野が多い傾向があります。特に「医学」「工学」「農学」「教員養成」の分野は存在なしには成り立ちません。「大学で学んだことを実社会で活かして貢献していきたい」と考える人にとって非常に魅力的です。

② 少人数教育

③ 地元で愛される大学と学生

【魅力その1】 金銭面～地方ならお金も時間もかかりにくい ～在学生の約7割の通学時間は10分以内

① 安価な授業料(入学金を除く)

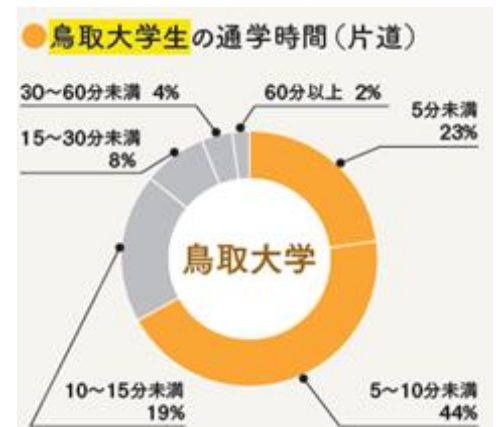
4年間で、多くの国公立大学で約215万円。私立大学では数千万円かかる医学部や歯学部も国公立大学では同じ金額の学費です。

② 安価な家賃相場

都会ではワンルームのアパート・マンションは6～10万円ですが、地方では2～5万円です。

③ 通学時間と通学費用～通学にお金も時間もかからない

地方大学の一人暮らしをする学生の多くが大学周辺に住んでおり、徒歩か自転車で通学しています。



【魅力その2】 生活面～「ひとり暮らし」は、社会で求められる力を修得できる!

- ① 自立による主体性
- ② 自己管理能力～「時間の管理」「お金の管理」「健康の管理」
- ③ 協働性・コミュニケーション能力～「ひとり暮らし」では、困ったことがあったらお互いに助け合う“協働性”を身につけることができます。そして、他者と対話し相談することを通じて、コミュニケーション能力を身につけることができます。

【魅力その3】 学生の特性～価値観の異なる多様な学生との出会いこそ大きな財産!

- ① 全国から集まる～鳥取県出身者は16%(840人)。在籍学生(5,173人)のうち84%が県外出身者で、北海道から九州・沖縄まで出身地は多様。首都圏出身者も170人(埼玉32人、東京75人、神奈川33人、千葉30人)となっています。
- ② 世界から集まる～22の国・地域から164人の留学生
- ③ 勉強にまじめ

受験で5教科7(8)科目をきっちり学んできたため、苦手なこときちんと仕上げ、真面目に勉強に取り組む傾向があります。

